

編集後記

●日本は同調圧力の強い社会であると言われてきましたが、コロナ禍に伴うマスク着用の実態を見ていますと、つくづくそのとおりだと感じます。そして、子どもたちも小学校中学年以降になると、同年代の仲間からの「圧」を強烈に感じながら生活しているようです。特集でも指摘されるように、そのピア・プレッシャーはプラスに働くこともあります。時にはピア・プレッシャーを指導に利用することもあるかもしれません（その是非はともかく）。特集1が、ピア・プレッシャーという視点で子どもたちの関係を考えてみるきっかけになれば幸いです。

●「三月は浄化の時」との指摘が、特集2に出ています。子どもたちとの関係がじっくりこないまま年度末になってしまったときでも、逆転サヨナラホームランがあるのが教師という職業のおもしろいところ。「年度末だからこそできるチャレンジを」との言葉も納得です。（こ）

次号のお知らせ

特集1 一年間の「ありがとう」をどう伝えるか

一年を通じて「ありがとう」を伝えてきても、年度末に伝える「ありがとう」は格別です。先生から子どもたちへ、そして子どもたち同士で「ありがとう」を伝え合う工夫を紹介します。

特集2 卒業式・修了式から4月1日までにやっておきたいこと

まずは一年間の疲れを癒したいものです。その上で、この時期にやっておくと新年度からが楽になることや、新年度から充実させることにつながる「やっておきたいこと」を、具体的に考えます。



学校教育相談

2023年 令和5年 2月号

定価 820円（本体 745円）

2023年2月1日発行

●発行所

ほんの森出版株式会社

〒145-0062

東京都大田区北千束3-16-11

電話 03-5754-3346

FAX 03-5918-8146

URL <https://www.honnomori.co.jp>

●編集企画 学校教育相談研究所

●発行人 小林敏史


●印刷所 研友社印刷(株)

ほんの森掲示板



・「母親に向かって、『死ねばいい』……とののしったりするのは、ほとんどやつあたり。半分は自分に向かって言っている。高校一年生。『朝日新聞』の1面の左下に、鷲田清一氏が担当する「折々のことば」というコラムがあります。2022年12月15日の回に、9月にほんの森出版から発行した『大丈夫！ 不登校。70人の先輩たちからのエール』（荒井裕司／編著）からの言葉が紹介されました。70余人の当事者や保護者の思いと、15人のカウンセラーの解説によって、「不登校からの回復の道筋」を示す本です。

●本誌の2023年4月号からの1年間の誌代は13,200円（税込 増刊号2冊を含みます）。振替口座 00140-4-768848 雑誌・書籍のご注文は、書店もしくは直接小社にどうぞ。本誌定期購読の場合は送料サービス。書籍・バックナンバーのご注文は1冊につき送料100円（3冊以上送料サービス）でお送りします。お支払いは送本時同封の郵便振替用紙で。

● **文書ファイル配布** ページ下にこのマークが入っている ☆詳しくは奥付を！ 資料のファイル（ワード・パワポ・PDFなど）を希望の方はホームページからご連絡ください。

ほんの森出版

検索